

三原市における「生涯活躍のまち」について

基本的な考え方

- ・生きがいや人生の目的を強く感じ、社会参加(就業・地域活動)が活発である人ほど健康寿命は長く、市はこれを支援することが必要。
- ・このため、人口減少・高齢化が進んでも、シニアと呼ばれる人たちへの
 - (A)趣味や学習, 健康, 安心して暮らせる地域を提供する生活充実・向上支援
 - (B)本人の経験を活かせるとともに、収入につながる就労充実・働き方支援を通じ、いつまでも社会とつながりを持ち、孤立せず、楽しみながら、満足した暮らしができるまちの実現をめざす。
- ・国のめざす都会からの移住に向けた取組よりも、市民の住みやすいまちをめざすことを目的とした「市民ファースト」の取組とする。



シニア層の意向把握(①市民が考える生涯活躍, ②将来の暮らし方, ③活動状況 など)

■活躍に向けての意識

- ・健康で、目標を持つことが重要
- ・仕事や趣味など活動を通じて活躍したい
- ・収入に対する思いには差があるが、年金+αを期待
- ・自分の得意分野を活かしたい
- ・活躍に対する積極的な情報が必要

■活躍に向けての課題

- ・生活リズムの維持
- ・活動のきっかけづくり
- ・仕事と自分のできることのマッチング
- ・活動にはさまざまな形があることの理解
- ・必要な情報の提供



実証モデル事業(平成28年度の取組内容)

- セカンドライフ応援セミナー → 全2回開催し、延べ75人が参加
 - ・「収入」と「生きがい」が両立したセカンドライフを送るためのきっかけとなる機会創出と、行動変容を促す
- お試し就労 → 5事業所で実施し、参加者20人中4人が就労
 - ・希望する「働き方」を実際に体験し、仕事のイメージを具体化してもらう
- 認定生活支援員養成講座 → 10人を生活支援員として認定(介護予防・日常生活支援総合事業対応)
 - ・家事援助や外出支援等、介護分野での知識や技術を習得し、就労機会の創出を支援
- 県立広島大学公開講座 → 全3回開催し、延べ202人が参加
 - ・シニア層が生涯にわたって活躍し、生きがいをもって生活するイメージを具体化し、機運を醸成する



実証モデル事業をふまえた今後の重点項目

- ・「やりたいこと」を見つけるための意識啓発
 - ・「できること」を拡げる機会の創出
- 活躍に取り組む人を増やす
- ・「やりたいこと・できること」を地域・社会のニーズとマッチングする機能の強化
 - ・フルタイム、パートタイムよりも自由な時間で地域・社会に貢献する働き方への対応
- 活躍する場を用意(紹介)する
- ・地域課題に対して一定の報酬を得ながら解決に向けて自発的に取り組む活動への支援
 - ・上記事項に沿って事業を推進する主体の育成・支援
- 実施主体が自立して取り組む

「やりたいこと」「できること」「求められていること」の重なる活動に取り組む人材の創出

これまで忙しくてできなかった「やりたいこと」を「できること」に変えていく。

これまでの経験を活かして「できること」で社会のニーズに貢献する。

「やりたいこと」を見つけ、

「できること」を拡げ、

「求められていること」に応える。

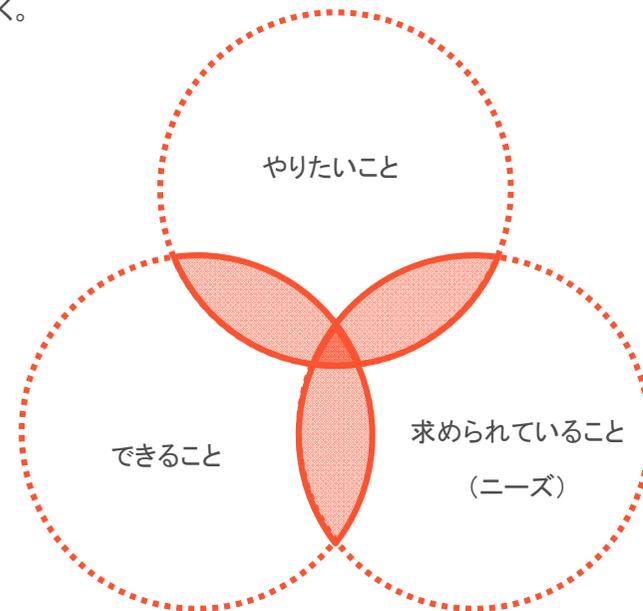
そのことで、生きがいや収入が得られ、

自分も周りも幸せになる。

三原市では、「やりたいこと」「できること」「求められていること」の

重なる活動に取り組む人材を創出していくことで、

生涯活躍できるまちの実現をめざす。



「生涯活躍のまち」実現に向けた4つの基本方針

生涯を通じて活躍するために、「健康」は最も重要な要素である。

加えて、楽しみ、やりがいといった自分の生活の質を高める「生活の充実」と、

社会貢献、地域貢献といった「仕事の充実」が生涯活躍を支える柱となる。

さらに、社会や人との「つながり」の創出を支援することにより、生涯活躍のまちの実現を図る。

1.健康の充実

市民それぞれの健康状態に合わせ、病気の予防や悪化を防ぎ、

心身ともに健康な暮らしの実現を支援する。

2.生活の充実

趣味や教養を深める学びの機会など、楽しみ、やりがいを生む

生活の質向上のための支援を行う。

3.仕事の充実

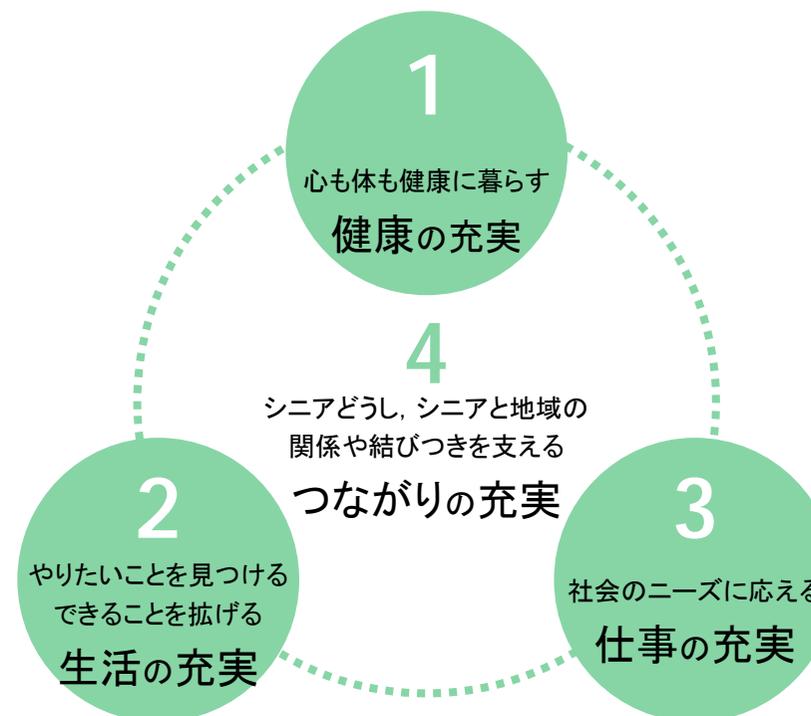
シニアがこれまでに培った経験や知識、技能を活かし、

地域や社会で活躍できる場の拡充を図る。

4.つながりの充実

シニアと地域・社会、シニアどうしの

関係を育むつながりの創出を支援します。



■重点項目

1) 活躍に取り組む人を増やす

✓ 「やりたいこと」を見つけるための意識啓発

✓ 「できること」を拓げる機会の創出

⇒ 例 : ・県立広島大学三原キャンパスでの講座・講義
・人材養成・研修(介護予防・日常生活支援総合事業A型対応)
・セカンドライフ応援セミナー

2) 活躍する場を用意(紹介)する

✓ 「やりたいこと」や「できること」を地域・社会のニーズとマッチングする機能の強化

✓ フルタイム, パートタイムよりも自由な時間で地域や社会に貢献する働き方への対応

⇒ 例 : ・お試し就労
・人材養成・研修(介護予防・日常生活支援総合事業A型対応) (再掲)
・セカンドライフ応援セミナー (再掲)

3) 実施主体が自立して取り組む

✓ 地域課題に対して一定の報酬を得ながら解決に向けて自発的に取り組む活動への支援

✓ シニアのアクティブ化を支援する総合的な相談機能を持ったNPO法人等の育成・支援

⇒ 例 : ・コミュニティビジネスや協同労働などの取組を参考とした支援策の検討
・生涯活躍を支援する総合的な相談窓口の開設
・シニアと地域・社会, シニアどうしのつながりを強化するための取組